

たんぽぽ

北里学級だより
NO.5
2011. 7. 20.

病院で終業式を迎えた子どもたちへ

病気や怪我で入院しているため自分の学校の終業式に参加できない子どもたちに、一学期の努力を評価したり、「学校」への思いを常に心に持ち続けてもらうため、北里学級でも終業式を実施いたしました。

現在北里学級に籍を移している児童生徒はいないため、通知票を渡すことは出来ませんでしたが、光が丘小学校と麻溝台中学校の教頭先生校長先生や、病棟の看護師さん保育士さんに参加をしていただき、和やかな雰囲気でおこなわれました。

終業式に先立って、子どもたち一人ひとりから、「一学期にがんばったこと」の発表があり、その後参加していただいた先生方から、お言葉をいただきました。

最後に、子どもたち手作りの「オリジナルうちわ」が参加した皆さんに手渡され、終業式を終えました。

入院している子どもたちは、「何もすることがない」「友だちと一緒にいられない」「勉強や行事に参加できない」など、孤独感を感じることも多いです。子どもは本来集団の中で育ちます。遊びや勉強を通して励まし合ったり、時にはケンカをしたりしながら成長していくのです。入院中の子どもたちに「集団」の中で過ごす喜びを体験させ、治療をしながらも、コミュニケーションの力を育てていく場所が、北里大学病院にはあります。

小児病棟のプレイルームには保育士さんが常駐し、北里学級には小学校と中学校が設置されていることにより、こうした「教育の力」を入院中も継続させることが出来るのです。

北里学級の一学期は、今日で終了しますが職員は夏休み中も病棟に時々おじゃまします。一緒に話しをしたり、勉強したり、宿題のお手伝いもしますので、ぜひ声をかけてください。

はじめとなる立派な式が出来て嬉しい。一日も早く元気になって、夏休みの思い出を作ってください。

(麻溝台中 和田校長先生)



何か、自分の好きなことを一つ見つけてください。自分の得意なものを伸ばして欲しいです。

(光が丘小 高橋教頭先生)



何でも、がんばって取り組むということはすごいことです。

私もトマト、ゴーヤ、かぶと虫を育てています。

(看護師 佐藤さん)



病院の生活の中でも、楽しいことを見つけてくれるといいな、と思います。

(保育士 竹中さん)



一学期に頑張ったこと

- 算数のたし算ひき算をがんばりました。(小1 Aさん)
- 一番がんばったのは、理科の実験です。(小3 Bさん)
- 学校でトマトを育てました。(小2 C君)
- トマトを育てているので、はやく大きくなって欲しい。(小3 D君)
- 社会を特にがんばりました。(中3 Eさん)